

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-058472

(43)Date of publication of application : 05.03.1996

(51)Int.Cl.

B60R 1/06

(21)Application number : 06-198855

(71)Applicant : NISSAN MOTOR CO LTD

(22)Date of filing : 24.08.1994

(72)Inventor : MATSUDA SHINJI

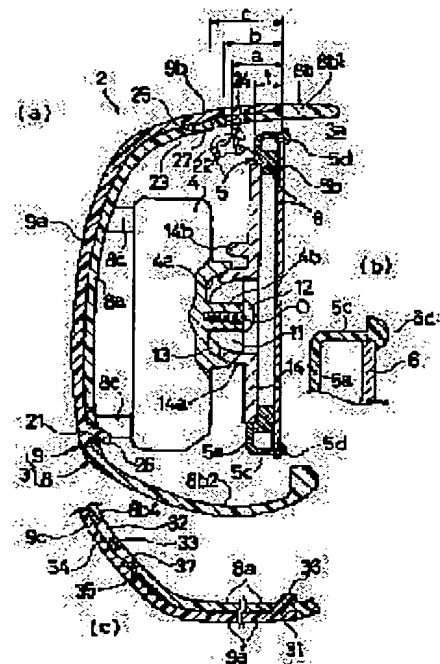
(54) DOOR MIRROR GARNISH INSTALLATION STRUCTURE

(57)Abstract:

PURPOSE: To simply and easily remove a garnish from a mirror housing main body by providing a tool engagement part to be exposed at the time when a mirror main body is operated to tilt by specified quantity in a specified direction on a movable piece.

CONSTITUTION: As a movable piece 23 is not sagged more than required at the time of sagging the movable piece 23 to the side of a mirror holding frame 5 in the state where a mirror main body 6 is operated to tilt by specified quantity in a specified direction, the movable piece 23 is prevented from being damaged by excessive force.

Additionally, as to a movable piece 33, it is sagged in the same way as the movable piece 23, a second engagement claw is pulled out of a second engagement hole provided on the movable piece 33. By such operation, it is possible to remove a garnish from a mirror housing main body.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-58472

(43)公開日 平成8年(1996)3月5日

(51)Int.Cl.⁶

B 6 0 R 1/06

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

D 7447-3D

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平6-198855

(22)出願日 平成6年(1994)8月24日

(71)出願人 000003997

日産自動車株式会社

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

(72)発明者 松田 紳二

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地日産自動車株式会社内

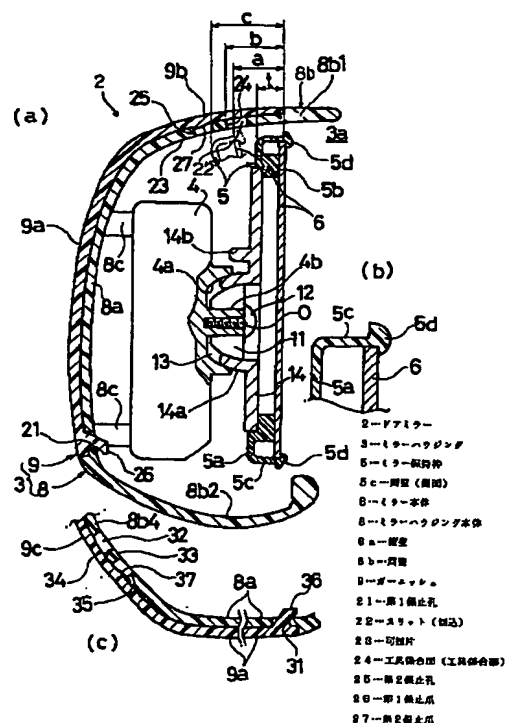
(74)代理人 弁理士 西脇 民雄

(54)【発明の名称】 ドアミラー・ガーニッシュ取付構造

(57)【要約】

【目的】ミラーハウジング本体内に組み込まれた部品を取り外すことなく、ガーニッシュをミラーハウジング本体から簡単且つ容易に取り外すことのできるドアミラー・ガーニッシュ取付構造を提供すること。

【構成】 ガーニッシュ9が固定手段で縦壁8aと周壁8bを有するミラーハウジング本体の外表面に固定されていて、固定手段は、縦壁8aの周縁部に形成された第1係止孔21、31と、周壁8bの第1係止孔21、31とは反対側に位置する部分に切込22、32を入れることにより形成された可撓片23、33と、可撓片に形成された第2係止孔25、35と、ガーニッシュ9に形成され且つ第1、第2係止孔21、31に係合する第1係止爪26、36、第2係止爪27、37を備え、可撓片23、33はミラー本体6を所定方向に所定量傾動操作させたときに露出する工具係合部を有するドアミラー・ガーニッシュ取付構造。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 縦壁と該縦壁の周縁に沿って連設された周壁からなるミラーハウジング本体の開口端部内にミラー本体が傾動操作可能に保持され、該ミラーハウジング本体の外表面がガーニッシュで覆われていると共に、該ガーニッシュが固定手段で前記ミラーハウジング本体に固定されているドアミラー・ガーニッシュ取付構造において、

前記固定手段は、前記縦壁の周縁部に形成された第 1 係止孔と、前記周壁の前記第 1 係止孔とは反対側に位置する部分に切込を入れることにより形成された可撓片と、該可撓片に形成された第 2 係止孔と、前記ガーニッシュに形成され且つ前記第 1、第 2 係止孔に係合する第 1、第 2 係止爪を備え、

前記可撓片は前記ミラー本体を所定方向に所定量傾動操作させたときに露出する工具係合部を有することを特徴とするドアミラー・ガーニッシュ取付構造。

【請求項 2】 ミラー保持枠がミラーハウジング本体内に傾動操作可能に保持され、該ミラー保持枠にミラー本体が保持されることにより、前記ミラー本体が前記ミラーハウジング本体に傾動操作可能に保持され、前記ミラー本体を所定方向に所定量傾動操作させた状態で前記可撓片を前記ミラー保持枠側に撓ませたときに、前記可撓片が前記ミラー保持枠の側面に当接可能に設けられていることを特徴とする請求項 1 に記載のドアミラー・ガーニッシュ取付構造。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 この発明は、ガーニッシュをミラーハウジング本体の外表面に着脱可能に取り付けるドアミラー・ガーニッシュ取付構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 この種のガーニッシュ取付構造を有するドアミラーとしては、例えば図 7、図 8 に示した様なものが考えられている。

【0003】 図 7 において、1 は自動車（車両）のフロントドアの窓部前端に取り付けられるコーナピース、1a はコーナピース 1 に突設されたミラー支持突部、2 はミラー支持突部 1a に前後回動可能に装着されたドアミラーである。

【0004】 このドアミラー 2 は、ミラーハウジング 3 と、ミラーハウジング 3 内に配設固定された固定フレーム 4 と、このミラーハウジング 3 の開口端部 3a 内に配設された樹脂製のミラー保持枠 5 と、ミラー保持枠 5 に保持されたミラー本体 6 と、ミラー保持枠 5 を固定フレーム 4 に傾動自在に連結している球継手 7 を有する。ミラーハウジング 3 は、ミラーハウジング本体 8 と、このミラーハウジング本体 8 の外表面を覆うガーニッシュ 9 から構成されている。

【0005】 しかも、このミラーハウジング本体 8 は、

縦壁 8a と、この縦壁 8a の周縁に沿って形成された周壁 8b から構成されている。この周壁 8b は、上壁 8b1、下壁 8b2、基端壁 8b3（コーナピース 1 側）、先端壁 8b4 から環状（筒状）に構成されている。尚、上述した固定フレーム 4 は、ミラーハウジング本体 8 のボス 8c に図示しないビスで固定されている。また、ガーニッシュ 9 は、縦壁 9a と、この縦壁 9a の上縁に設けられた上壁 9b と、先端壁 8b4 に対応して縦壁 9a の縁部に設けられた端壁 9c を有する。

【0006】 ミラーハウジング本体 8 の内面には縦壁 8a の後面に開口する筒状ボス部 8d が突設され、ガーニッシュ 9 の縦壁 9a には筒状ボス部 8d の穴 8e に嵌合するボス部 9d が突設されている。そして、ボス筒部 8d の端壁 8f を貫通するタップネジ 10 をボス部 9d に螺着することで、ガーニッシュ 9 がミラーハウジング本体 8 に着脱可能に固定されている。

【0007】 ミラー保持枠 5 は、保持枠本体 5a と、保持枠本体 5a の内周に設けた突部 5b と、保持枠本体 5a の外周に設けた周壁 5c と、周壁 5c の先端に沿って設けられた係止突部 5d を有する。そして、ミラー本体 6 は、背面の周縁部近傍の部分に突部 5b に当接させると共に、前面の周縁部に係止突部 5d を係合させることで、ミラー保持枠 5 に保持されている。尚、ミラー保持枠 5 の周壁 5c は着脱のために多少の可撓性を持たせてある。

【0008】 また、球継手 7 は、固定フレーム 4 に設けた球面状凹部 4a と、この球面状凹部 4a の中央に突設されたボス部 4b と、このボス部 4b に嵌合され且つ球面状凹部 4a 内に配設された半球状体 11 と、ボス部 4b に螺着されて半球状体 11 の抜け外れを阻止しているビス 12 を有する。この球面状凹部 4a と半球状体 11 との間には半球状間隙 13 が形成されている。また、球継手 7 は半球状間隙 13 内に半球筒部 14a が嵌合する可動フレーム 14 を有し、この可動フレーム 14 にミラー保持枠 5 が固定されている。

【0009】 この構成により、可動フレーム 14 の半球筒部 14a が半球状間隙 13 内を任意の方向に回動させられることにより、ミラー保持枠 5 及びミラー本体 6 が可動フレーム 14 と一体に任意の方向に傾動させられる。図中、14b は可動フレーム 14 の上部が後方に所定量以上回動するのを規制するストッパーである。

【0010】 ところで、この様な構成のドアミラー 2 においては、ガーニッシュ 9 の色のみを車体の色に合わせる（マッチさせる）ことで、車体色に応じたミラーハウジング本体 8 を多数用意せず、ミラーハウジング本体 8 の共通化を図っている。しかも、ガーニッシュ 9 等に傷が付いたときには、このガーニッシュ 9 を新たなものと交換することにより、ドアミラー 2 の外観を補修できるようにしている。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ガーニッシュ 9 を新たなものと交換する場合には、係止突部 5 d をミラー本体 6 の周縁部から外方に外して、ミラー本体 6 をミラー保持枠 5 から取り外した後、ビス 12 を外して半球状体 11 及び可動フレーム 11 を固定フレーム 4 から取り外し、更にタップネジ 10 を取り外す作業が必要であるため、交換作業に手間がかかるものであった。

【0012】しかも、ミラー本体 6 は使用時にミラー保持枠 5 から容易に抜け外れないようにしているため、係止突部 5 d をミラー本体 6 の周縁部から外方に外す作業は容易でなく熟練を要すると共に、この作業には専用の工具を必要とするものであり、ミラー本体 5 をミラー保持枠 6 から取り外す作業が容易ではなかった。

【0013】また、上述したようにガーニッシュ 9 の交換作業が面倒であるため、車体組立ライン上でドアミラーを車体に組み付ける場合には、組立ラインに沿って流れてくる車体の色に応じた色のガーニッシュ 9 を予めミラーハウジング本体 8 に組み付けたミラーハウジング 3 を用意しておく必要があるが、車種および車体色等の組み合わせは多数種類となり部品管理が大変である。しかも、組み付け誤りがあった場合には、即ち組立ラインに沿って流れてくる車体の色に応じた色のガーニッシュと異なる色のガーニッシュ 9 をミラーハウジング本体 8 に組み付けた場合、上述したようにガーニッシュ 9 の交換作業に手数を要するため、交換作業が面倒である。

【0014】そこで、この発明の目的は、ミラーハウジング本体内に組み込まれた部品を取り外すことなく、ガーニッシュをミラーハウジング本体から簡単且つ容易に取り外すことのできるドアミラー・ガーニッシュ取付構造を提供することにある。

【0015】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、請求項 1 の発明は、縦壁と該縦壁の周縁に沿って連設された周壁からなるミラーハウジングの開口端部内にミラー本体が傾動操作可能に保持され、該ミラーハウジングの外壁がガーニッシュで覆われていると共に、該ガーニッシュが固定手段で前記ミラーハウジングに固定されているドアミラー・ガーニッシュ取付構造において、前記固定手段は、前記縦壁の周縁部に形成された第 1 係止孔と、前記周壁の前記第 1 係止孔とは反対側に位置する部分に切込を入れることにより形成された可撓片と、該可撓片に形成された第 2 係止孔と、前記ガーニッシュに形成され且つ前記第 1、第 2 係止孔に係合する第 1、第 2 係止爪を備え、前記可撓片は前記ミラー本体を所定方向に所定量傾動操作させたときに露出する工具係合部を有するドアミラー・ガーニッシュ取付構造としたことを特徴とする。

【0016】また、請求項 2 の発明は、ミラー保持枠がミラーハウジング内に傾動操作可能に保持され、該ミラ

ー保持枠にミラー本体が保持されることにより、前記ミラー本体が前記ミラーハウジングに傾動操作可能に保持され、前記ミラー本体を所定方向に所定量傾動操作させた状態で前記可撓片を前記ミラー保持枠側に撓ませたときに、前記可撓片が前記ミラー保持枠の側面に当接可能に設けられていることを特徴とする。

【0017】

【作用】この様な請求項 1 の発明の構成によれば、ミラー本体を所定方向に所定量傾動操作させて可撓片の工具係合部を露出させ、この工具係合部にドライバー等の工具の先端を係合させて、この工具により可撓片をミラー本体側に撓ませることにより、第 2 係止爪が可撓片に設けた第 2 係止孔から抜け外れて、ガーニッシュがミラーハウジング本体から取り外せる状態となる。

【0018】また、請求項 2 の記載の発明によれば、工具により可撓片をミラー本体側に撓ませたときに、可撓片がミラー保持枠の周壁に当接して、可撓片が必要以上に撓むのが阻止される。

【0019】

【実施例】以下、この発明の一実施例を図 1～図 6 に基づいて説明する。尚、上述した構成と同じ部分、類似する部分には同じ符号を付して説明する。

【0020】図 3 において、1 は自動車（車両）のフロントドアの窓部前端に取り付けられるコーナピース、1 a はコーナピース 1 に突設されたミラー支持突部、2 はミラー支持突部 1 a に前後回動可能に装着されたドアミラーである。

【0021】このドアミラー 2 は、ミラーハウジング 3 と、ミラーハウジング 3 内に固定された固定フレーム 4 と、このミラーハウジング 3 の開口端部 3 a 内に配設されたミラー保持枠 5 と、ミラー保持枠 5 に保持されたミラー本体 6 と、ミラー保持枠 5 を固定フレーム 4 に傾動自在に連結している球継手 7 を有する。

【0022】ミラーハウジング 3 は、ミラーハウジング本体 8 と、このミラーハウジング本体 8 の外面を覆うガーニッシュ 9 から構成されている。

【0023】しかも、このミラーハウジング本体 8 は、縦壁 8 a と、この縦壁 8 a の周縁に沿って形成された周壁 8 b から構成されている。この周壁 8 b は、上壁 8 b 1、下壁 8 b 2、基端壁 8 b 3（コーナピース 1 側）、先端壁 8 b 4 から環状（筒状）に構成されている。尚、上述した固定フレーム 4 は、ミラーハウジング本体 8 のボス 8 c に図示しないビスで固定されている。

【0024】また、ガーニッシュ 9 は、縦壁 9 a と、この縦壁 9 a の上縁に設けられた上壁 9 b と、先端壁 8 b 4 に対応して縦壁 9 a の縁部に設けられた端壁 9 c を有する。

【0025】このガーニッシュ 9 はミラーハウジング本体 8 に固定手段を介して着脱可能に取り付けられている。この固定手段は、上下の部分固定する第 1 固定手

段と横の部分とを固定する第 2 固定手段を有する。

【0026】第 1 固定手段は、ミラーハウジング本体 8 の縦壁 8 a の周縁部である下縁部の左右に形成された第 1 係止孔 2 1、2 1 と、周壁 8 b の第 1 係止孔 2 1 とは反対側に位置する部分すなわち上壁 8 b 1 と縦壁 8 a に跨って設けられたコ字状でスリット（切込）2 2 と、このスリット 2 2 を入れることにより形成され且つ下端が縦壁 8 a と一体の可撓片 2 3 と、可撓片 2 3 の先端部に設けられた傾斜する工具係合面 2 4 と、可撓片 2 3 に形成された第 2 係止孔 2 5 を有する。尚、スリット 2 2 及び可撓片 2 3 は縦壁 8 a の左右方向の略中央に位置して設けられている。

【0027】また、第 1 固定手段は、ガーニッシュ 9 の縦壁 9 a の下端部内面に設けられ且つ第 1 係止孔 2 1、2 1 に係合する第 1 係止爪 2 6、2 6 と、ガーニッシュ 9 の上壁 9 b に設けられ且つ第 2 係止孔 2 5 に係合する第 2 係止爪 2 7 を有する。尚、第 1 係止爪 2 1 は鉤状に形成され、第 2 係止爪 2 7 は三角突部状に形成されている。

【0028】第 2 固定手段は、図 1(a)、図 3、図 4 に示した如くミラーハウジング本体 8 の縦壁 8 a の周縁部である基端縁部（コーナピース 1 側）の上下に形成された第 1 係止孔 3 1、3 1 と、周壁 8 b の第 1 係止孔 3 1 とは反対側に位置する部分すなわち先端壁 8 b 4 と縦壁 8 a に跨って設けられたコ字状でスリット（切込）3 2 と、このスリット 3 2 を入れることにより形成され且つ下端が縦壁 8 a と一体の可撓片 3 3 と、可撓片 3 3 の先端部に設けられた傾斜する工具係合面 3 4 と、可撓片 3 3 に形成された第 2 係止孔 3 5 を有する。尚、スリット 3 2 及び可撓片 3 3 は縦壁 8 a の左右方向の略中央に位置して設けられている。

【0029】また、第 2 固定手段は、ガーニッシュ 9 の縦壁 9 a の下端部内面に設けられ且つ第 1 係止孔 3 1、3 1 に係合する第 1 係止爪 3 6、3 6 と、ガーニッシュ 9 の端壁 9 c に設けられ且つ第 2 係止孔 3 5 に係合する第 2 係止爪 3 7 を有する。尚、第 1 係止爪 3 1 は鉤状に形成され、第 2 係止爪 3 7 は三角突部状に形成されている。

【0030】ミラー保持枠 5 は、保持枠本体 5 a と、保持枠本体 5 a の内周に設けた突部 5 b と、保持枠本体 5 a の外周に設けた周壁 5 c と、周壁 5 c の先端に沿って設けられた係止突部 5 d を有する。そして、ミラー本体 6 は、背面の周縁部近傍の部分と突部 5 b に当接させると共に、前面の周縁部に係止突部 5 d を係合させることで、ミラー保持枠 5 に保持されている。尚、ミラー保持枠 5 の周壁 5 c は着脱のために多少の可撓性を持たせてある。

【0031】また、球継手 7 は、固定フレーム 4 に設けた球面状凹部 4 a と、この球面状凹部 4 a の中央に突設されたボス部 4 b と、このボス部 4 b に嵌合され且つ球

面状凹部 4 a 内に配設された半球状体 1 1 と、ボス部 4 b に螺着されて半球状体 1 1 の抜け外れを阻止しているビス 1 2 を有する。この球面状凹部 4 a と半球状体 1 1 との間には半球状間隙 1 3 が形成されている。また、球継手 7 は半球状間隙 1 3 内に半球筒部 1 4 a が嵌合する可動フレーム 1 4 を有し、この可動フレーム 1 4 にミラー保持枠 5 が固定されている。

【0032】尚、可動フレーム 1 4 は、固定フレーム 4 に保持された図示しない電動モータ等の駆動手段で任意の方向に傾動操作可能に設けられている。

【0033】この駆動手段により可動フレーム 1 4 を任意の方向に傾動操作させると、可動フレーム 1 4 の半球筒部 1 4 a が半球状間隙 1 3 内を任意の方向に回転させられることにより、ミラー保持枠 5 及びミラー本体 6 が可動フレーム 1 4 と一体に任意の方向に傾動させられる。図中、1 4 b は可動フレーム 1 4 の上部が後方に所定量以上回転するのを規制するストッパーである。

【0034】尚、図 1(a)において、ミラー保持枠 5 の回転中心 O から係止突部 5 d の最外端までの距離を L とすると、ストッパー 1 4 b が固定フレーム 4 に当接するまで図 1 中反時計方向に回転させたとき（ミラー本体 6 を所定方向に所定量傾動操作させたとき）のミラー保持枠 5 の最外端の移動距離 a は、

$$a = L \tan \theta$$

（但し、 θ （図 2 参照）はミラー本体 6 の境界面の作動角度（通常は 5～10 度）で求められる。

【0035】ここで、

t ；ミラー保持枠 5 の周壁 5 c の背面から係止突部 5 d の背面までの距離

b ；ミラー本体 6 の垂直な位置（初期位置）の係止突部 5 d 背面から可撓片 2 3 の先端までの距離

c ；ミラー本体 6 の垂直な位置（初期位置）の係止突部 5 d 背面からミラー本体 6 が最大量傾斜させられたときのミラー保持枠 5 の背面までの距離

とすると、これら a 、 b 、 c の関係は、

$$c > b > a$$

となるように設定されている。

【0036】この条件により、可撓片 2 3 の工具係合面 2 4（工具係合部）は、可動フレーム 1 4 及びミラー本体 6 を所定方向に所定量傾動操作させたときに、即ち、ストッパー 1 4 b が固定フレーム 4 に当接するまで図 1 中反時計方向に回転させたときに露出するようになっている。その上、この位置で、即ちミラー本体 6 を所定方向に所定量傾動操作させた状態で、可撓片 2 3 を前記ミラー保持枠 5 側に撓ませたときに、可撓片 2 3 がミラー保持枠 5 の周壁の側面に当接可能に設けられている。このような条件は、可撓片 3 3、工具係合面 3 4 についても同じに設定されている。

【0037】次に、この様な構成のドアミラーのガーニッシュ取付構造の作用を説明する。この構成によれば、

図示しない駆動手段により可動フレーム 14 を任意の方向に傾動操作させると、可動フレーム 14 の半球筒部 14 a が回動中心 O を中心に半球状間隙 13 内を任意の方向に回動させられることにより、ミラー保持枠 5 及びミラー本体 6 が可動フレーム 14 と一体に任意の方向に傾動させられる。

【0038】従って、この傾動操作により、可動フレーム 14 及びミラー本体 6 を所定方向に所定量傾動操作させたときに、即ち、可動フレーム 14 を図 1 中反時計方向に回動させてストッパー 14 b を図 5 のごとく固定フ

レーム 4 に当接させたときに（図 1、2 では破線の位置）、可撓片 23 の工具係合面 24（工具係合部）は、露出させられる。

【0039】この状態で、この工具係合面 24 にドライバ 40（工具）の先端を係合させて、この工具により可撓片をミラー本体 6 側に図 6 のごとく撓ませることにより、第 2 係止爪が可撓片に設けた第 2 係止孔から抜け外れて、ガーニッシュがミラーハウジング本体から取り外せる状態となる。

【0040】この位置、即ちミラー本体 6 を所定方向に所定量傾動操作させた状態では、可撓片 23 を前記ミラー保持枠 5 側に撓ませたときに、可撓片 23 がミラー保持枠 5 の周壁 5 c の側面に当接させられて、可撓片 23 が必要以上に撓ませられることはないので、可撓片 23 が無理な力で破損させられるようなことが未然に防止される。

【0041】また、同様にして可撓片 33 についても可撓片 23 と同様にして撓ませ、第 2 係止爪を可撓片 33 に設けた第 2 係止孔から抜け外す。

【0042】この様な操作により、ガーニッシュをミラーハウジング本体から取り外すことができる。

【0043】従って、構成のドアミラー 2 においては、ガーニッシュ 9 の色のみを車体の色に合わせる（マッチさせる）ことで、車体色に応じたミラーハウジング本体 8 を多数用意せず、ミラーハウジング本体 8 の共通化を図ることができる。しかも、ガーニッシュ 9 等に傷が付いたときには、このガーニッシュ 9 を新たなものと交換することにより、ドアミラー 2 の外観を補修できる。

【0044】

【効果】以上説明したように、請求項 1 の発明は、ガーニッシュをミラーハウジング本体の背面に固定する固定手段が、前記縦壁の周縁部に形成された第 1 係止孔と、前記周壁の前記第 1 係止孔とは反対側に位置する部分に切込を入れることにより形成された可撓片と、該可撓片に形成された第 2 係止孔と、前記ガーニッシュに形成され且つ前記第 1、第 2 係止孔に係合する第 1、第 2 係止爪を備え、前記可撓片は前記ミラー本体を所定方向に所定量傾動操作させたときに露出する工具係合部を有する構成としたので、ミラーハウジング本体内に組み込まれた部品を取り外すことなく、ガーニッシュをミラーハウ

ジング本体から簡単且つ容易に取り外すことのできる。

【0045】この様にガーニッシュの交換作業が簡易であるため、車体組立ライン上でドアミラーを車体に組み付ける場合には、組立ラインに沿って流れてくる車体の色に応じた色のガーニッシュを予めミラーハウジング本体に組み付けたミラーハウジングを用意しておく必要はなく、しかも、組み付け誤りがあった場合には、即ち組立ラインに沿って流れてくる車体の色に応じた色のガーニッシュと異なる色のガーニッシュをミラーハウジング本体 8 に組み付けた場合でも、ガーニッシュの交換作業に手数を要しないため、交換作業が用意である。

【0046】また、請求項 2 の発明は、ミラー保持枠がミラーハウジング本体内に傾動操作可能に保持され、該ミラー保持枠にミラー本体が保持されることにより、前記ミラー本体が前記ミラーハウジング本体に傾動操作可能に保持され、前記ミラー本体を所定方向に所定量傾動操作させた状態で前記可撓片を前記ミラー保持枠側に撓ませたときに、前記可撓片が前記ミラー保持枠の側面に当接可能に設けられている構成としたので、ミラー本体を所定方向に所定量傾動操作させた状態で、可撓片を前記ミラー保持枠側に撓ませたときに、可撓片がミラー保持枠の周壁の側面に当接させられて、可撓片が必要以上に撓ませられることはないので、可撓片が無理な力で破損させられるようなことが未然に防止される。

【図面の簡単な説明】

【図 1】(a)はこの発明に係るガーニッシュ取付構造を備えるドアミラーの断面図、(b)は(a)の部分拡大図、(c)はドアミラーの第 2 固定手段の断面図である。

【図 2】図 1 に示したミラー保持枠及びミラー本体の傾斜角度説明図である。

【図 3】図 1、2 のミラーハウジング本体とガーニッシュを背面側から見た分解斜視図である。

【図 4】図 3 の要部拡大説明図である。

【図 5】図 1～図 3 に示したドアミラーのガーニッシュ取り外し作業説明図である。

【図 6】図 1～図 3 に示したドアミラーのガーニッシュ取り外し作業説明図である。

【図 7】従来のガーニッシュ取付構造を備えるドアミラーの部分分解斜視図である。

【図 8】図 7 の部品を組み付けた状態でのドアミラーの断面図である。

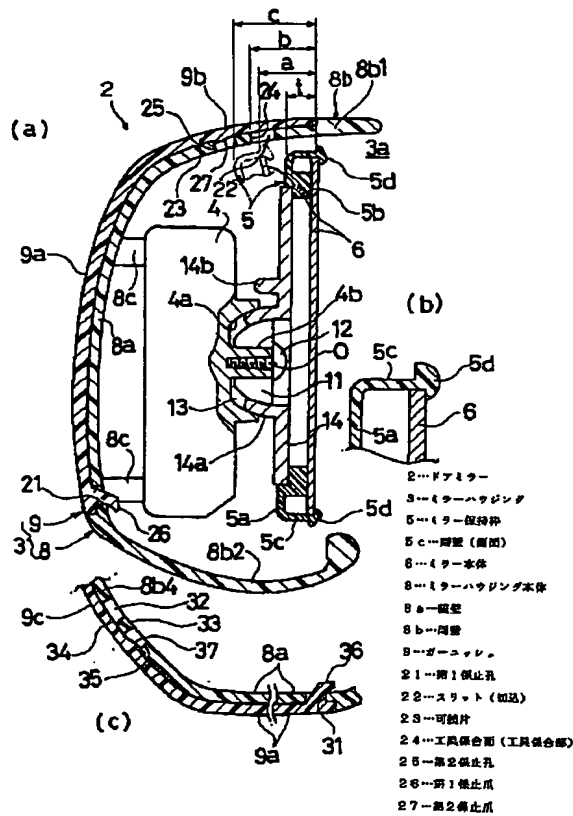
【符号の説明】

2…ドアミラー
3…ミラーハウジング
5…ミラー保持枠
5c…周壁（側面）
6…ミラー本体
8…ミラーハウジング本体
8a…縦壁
8b…周壁

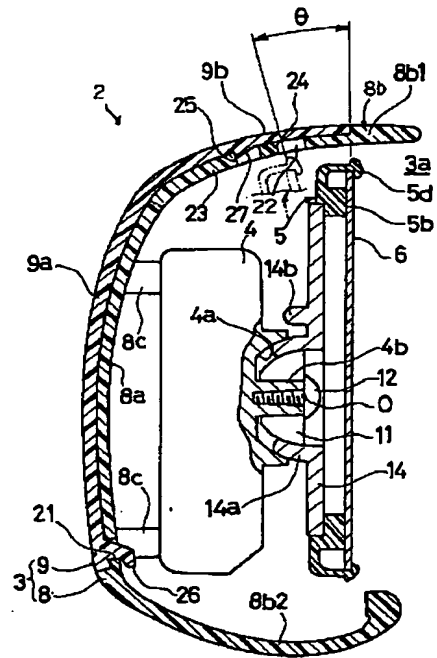
9…ガーニッシュ
 21…第1係止孔
 22…スリット（切込）
 23…可撓片
 24…工具係合面（工具係合部）
 25…第2係止孔
 26…第1係止爪
 27…第2係止爪

31…第1係止孔
 32…スリット（切込）
 33…可撓片
 34…工具係合面（工具係合部）
 35…第2係止孔
 36…第1係止爪
 37…第2係止爪

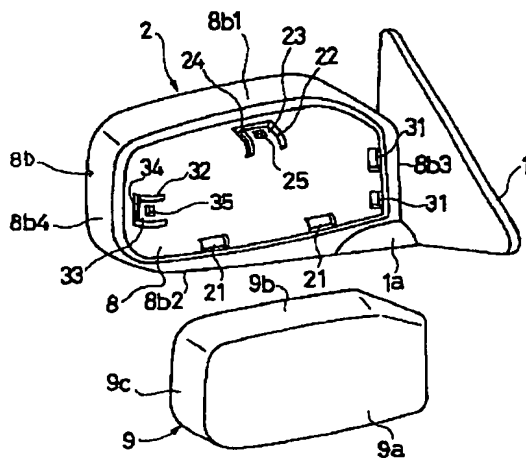
【図1】



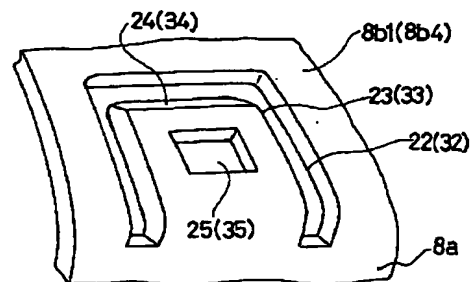
【図2】



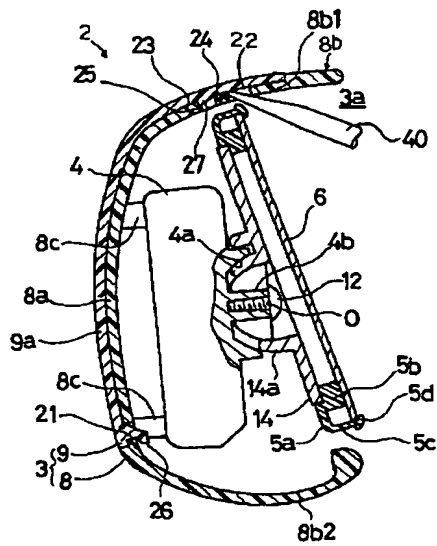
【図3】



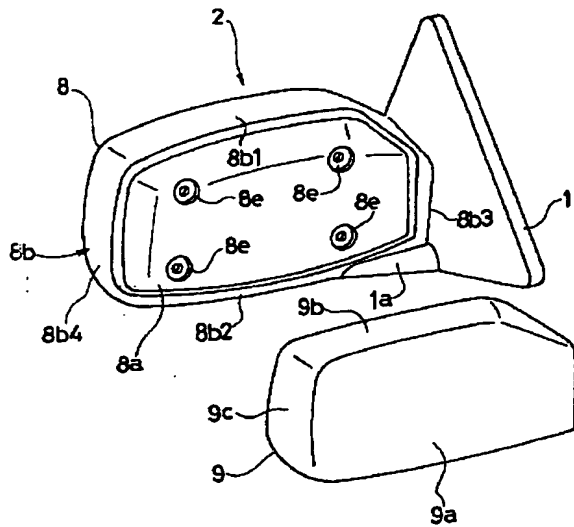
【図4】



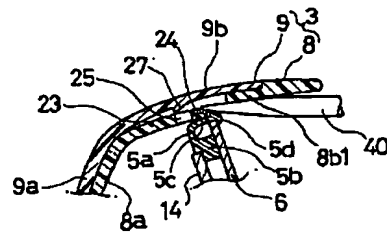
【図 5】



【図 7】



【図 6】



【図 8】

